



令和 6 年 (2024 年)

2 月 16 日 (金) 発行

〒080-2475

帯広市西 25 条南 2 丁目 9 番地 1

TEL 0155 (37) 2028

FAX 0155 (37) 3768

学校ホームページ <http://www.obihiro-sb.hokkaido-c.ed.jp>

帯広盲学校でできる視機能評価の一例

乳幼児 向けの検査

3歳からの『たべたのだあれ?』
視力検査キット (30 cm用)



「近くのものが見えているか」のスクリーニング検査です。ドーナツの絵を提示し「たべたのだあれ?」クイズを行いながら、近くのものが見えているか確かめます。「0.5」の指標と「0.8」の指標の2つで確かめることができます。

絵指標による遠見視力検査



「絵指標」による視力検査は、指標に黒の絵(チョウ・とり・さかな・イヌ)が書いてあり、その名前を言うてもらうことで検査します。帯広盲学校では、言葉で指標の名前を言うことが難しいお子様でもできるように棒付きの札(チョウ・とり・さかな・イヌ)を作りました。札を上げることで視力の確認ができます。

森実どっとカード



30 cmの近距離視力を測定します。うさぎの目が「ある」「ない」かを問うのみの検査です。顔は幼児にとって最も関心を示す図形であり、その中でも特に目は注意を引きつけます。指標は0.05、0.1、0.2、0.4、0.6、0.8、1.0、無しの8枚組になっていて、うさぎの他にくまもあります。

屈折検査 (スポットビジョンスクリーナー)



- 各地域の3歳児健診で導入されている屈折検査です。目には見えない赤外光を目の奥の網膜に当て、反射してくる光から目の屈折力を測定します。「近視・遠視・乱視・斜視」といった屈折異常を早期に発見できます。レンズを3～5秒程度見るだけでできるので、多くのお子様ができる検査です。
- 帯広盲学校では、道東の5つの町の3歳児健診に出張教育相談という形で屈折検査を行ってきました。これまで約2000名の屈折検査を行っています。

帯広盲学校でできる視機能評価の一例

幼児や小学生・中学生向けの検査

近距離単独指標（30 cm用）



・近見視力を測るには近距離単独指標を用いて近見視力検査を実施します。この検査では、右上の写真のように視標を 30cm の距離で提示し測定していきます。遠見視力検査と同様に、片眼ずつ計測し、視標内のランドルト環の向きを指さしてもらい、もしくは上下左右を言ってもらい確認していきます。

※右の表 1 のように見えにくさのある弱視児童生徒の読書文字サイズを決める手がかりになります。

・近くの方が見えにくい場合には、近距離視力検査も眼科で合わせて行うことをお勧めします。眼鏡の装用をすることにより、近くの方が正しく見えているかなど学校での学習環境を整えていくことが大切です。

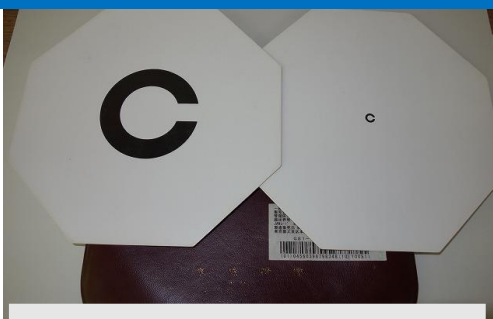


近距離視力と読書用文字のサイズ（理論値）

近距離視力	読書用文字の大きさ
1. 0	8ポイント
0. 9	9ポイント
0. 8	10ポイント
0. 7	12ポイント
0. 6	14ポイント
0. 5	16ポイント
0. 4	20ポイント
	* 拡大教科書の使用検討
0. 3	28ポイント
	* 拡大教科書の使用検討
0. 2	40ポイント
	* 拡大教科書の使用検討
0. 1	80ポイント
	* 拡大教科書の使用検討

※表 1 小・中学校における視力の弱い子どもの学習支援より
2009年 教育出版

遠距離単独指標（5m用）



たくさんのランドルト環が表になっている一般的な視力表を「字づまり指標」といいますが、帯広盲学校では一枚ずつランドルト環を提示する「字一つ指標」を使って遠見視力検査を行っています。視力によって教室の座席位置が合っているのか確認します。

D (0.2 以下) のひとは
前の方でも黒板の文字が見えません

C (0.3 ~ 0.6) のひとは
後ろの方では黒板の文字は見えずらくなります。

B (0.7 ~ 0.9) のひとは
後ろの方でも黒板の文字はほとんど読めます。

A (1.0 以上) のひとは
1 番後ろの席からでも、黒板の文字はよく見えています

